

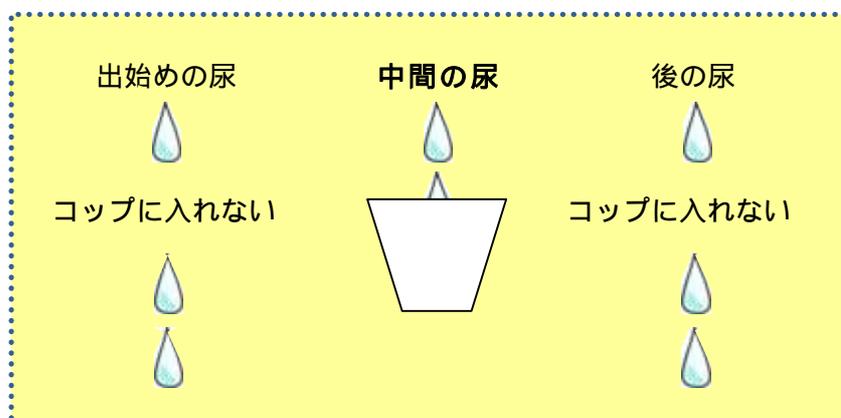
尿検査

腎臓が血液によって体中から運ばれてきた不要物を余分な水分とともに排泄したものが尿です。従って、体のどこかに異常があると、排泄されるべきものがされていなかったり、排泄してはいけないものが尿に混じってしまったりします。このように、腎臓や尿路だけでなくからだの異常を知るために、尿の中の成分や性質、量などを調べるのが尿検査です。



<尿の採り方>

最初の尿は捨てて、中間の尿をコップにお採りください。
(出始めの尿には細菌などが多く含まれます)



検査前のご注意

- ・ 尿検査には食事の影響を受ける検査項目があります。
特に、ビタミン C は多くの検査項目に影響を与えますので、
検査前にビタミン C を多く含むものはなるべく取らないようにしてください。



ペットボトル飲料
(清涼飲料水・ジュース)



かぜ薬・ビタミン剤

- ・ 尿検査の予定がある場合には、トイレに行くのを少しだけ控えてお越してください。
特に、泌尿器を受診される方には、尿検査は必要な検査です。

便検査

便の中に血液が混ざっていないかを調べます。目に見えない微量の血液も検出することができます。検尿と同じように、からだの異常を知るために大切な検査です。



便を採る時には、容器に付いている「正しい大便のとり方」説明書を必ず読んでからお採りください。

便を採る時のご注意

- ・ たくさん採り過ぎないようにしてください。
- ・ 生理中の便は採らないでください。
- ・ すぐに提出できない時は、なるべく冷暗所(冷蔵庫など)で保存してください。

ほかにも、便検査では寄生虫の検査などもしています。